

# 令和7年度事業報告

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

公益財団法人東京連合防火協会における令和7年度の事業は、広く都民の生命、身体及び財産を火災その他の災害から守るため、当協会が行政庁から公益認定を受けている事業内容に沿って、防火防災思想の普及高揚、災害発生時における被害軽減及び自助・共助を含む総合行動力の向上に関する次の事業を実施しました。

## I 公益事業

### 1 防火防災思想の普及高揚及び防災行動力の向上に関する事業

- (1) 自主防災市民組織等の指導育成事業
- (2) 防火防災イベント等における広報活動事業
- (3) 防火防災に関する専門図書の出版並びに機関誌等の発行事業
- (4) 消防功労者の表彰弔意事業

### 2 災害時の被害軽減対策及び防火防災に関する調査研究等に関する事業

- (1) 災害時要配慮者に対する防火防災対策の調査研究及び普及事業
- (2) 東京消防庁派遣隊等への支援事業
- (3) 国際消防技術支援事業
- (4) 震災対策への支援事業

## II 収益事業

### 防火防災普及用物品の販売並びに消防施設整備利用に関する事業

- 1 防火防災普及用物品の販売事業
- 2 消火栓標識の建植等消防環境の整備促進事業

## III その他の事業

### この法人の目的を達成するために必要なその他の事業

- 1 協会の運営管理事業
- 2 会員等の連携交流事業
- 3 広報事業

## 事業の詳細

(公益目的事業と収益事業等の種類と内容)

### I 公益事業

#### 1 防火防災思想の普及高揚及び防災行動力の向上に関する事業

##### (1) 防災市民組織等の指導育成事業

###### ア 自主防災組織育成講習会に係る事業支援

地域の防災行動力向上と「自助・共助」の意識醸成を目的とした本講習会に係る東京消防庁の事業を支援した。

(ア) 7月22日(本所都民防災教育センター) 参加人数 79名

(イ) 10月29日(立川都民防災教育センター) 参加人数 54名

###### イ 消防少年団高校生団員研修に係る事業支援 8月23日(スクワール麴町)

消防少年団高校生団員を対象に、将来の防災リーダーを育成することを目的とした本研修会に係る東京消防庁の事業を支援した。(参加人数64名)

##### (2) 防火防災イベント等における広報活動事業

###### ア 防火・防災ポスター等の配布

(ア) 町会・自治会に防火防災ポスターを配布(177,090枚)

時季に応じた5種類のポスターを作成し配布した。

- ① 夏の事故防止 39,600枚
- ② 防災週間 39,700枚
- ③ 秋の火災予防運動 36,080枚
- ④ 文化財防火デー 25,630枚
- ⑤ 春の火災予防運動 36,080枚



(イ) 消防のお知らせ(回覧板用)を作成し、防災週間、秋の火災予防運動、春の火災予防運動に合わせて町会・自治会を中心に配布した。(119,250枚)

(ウ) 各種広報媒体を活用した防火防災PR

- ① 消火栓標識広告板等を活用した救急車の適正利用をPRした。  
「#7119」都内34か所
- ② 災害時要配慮者に対する安全対策を推進するため、マイ消火器のイラストをプリントしたエコバックを作成し、東京都聴覚障害者連盟及び、東京消防出初式の会場において来場者に配布した。(840袋)
- ③ 救急車の適正使用を推進するため、救急車の写真入りA5サイズクリアファイルを作成し、火災予防運動、防火防災訓練等の機会に、各消防署を通して都民に配布した。(13,000枚)



イ 防火防災標語、はたらく消防の写生会、東京消防出初式の支援等

(ア) 防火防災標語公募に係る事業支援（共催）

8月1日から11月21日までの間に公募し、2月16日の選考会において1,609点の応募の中から「見えぬ火を 見抜く心で 守る家」  
(佐藤 <sup>たまき</sup>環さん)が最優秀作品に選ばれ、3月17日に表彰を実施した。

この事業に際して専務理事が選考委員を務めた。

(イ) 第74回はたらく消防の写生会に係る事業支援

小・中学生が写生画や消防に関するポスター、図画等を作成することにより、消防への関心を高め、防火防災意識の育成・向上を図り、合わせて作品の展示や表彰を通して、広く防火防災思想の普及を目的として、東京消防庁が開催した「はたらく消防の写生会」の事業を支援した。

(参加校1,134校・参加人数115,889人・優秀賞2,584人・入選5,572人)

(ウ) 第22回地域の防火防災功労賞に係る事業支援

(応募数53事例 最優秀賞3事例 優秀賞4事例 優良賞10事例)

地域防災力の向上を図るための都民、事業所等の効果的な取組みを表彰する東京消防庁の事業を支援し、専務理事が選考委員を務めた。

(エ) 東京消防出初式に係る事業支援

東京消防出初式を事業支援し、広く都民の防火防災思想の普及を図った。

(3) 防火防災に関する専門図書の出版並びに機関誌等の発行事業

消防関係者の実務資料として防火防災の専門図書（14冊）を出版するとともに、都民の防火防災思想の普及高揚を図るため、会報（年1回 4,200部）、機関誌「防災」（年4回 計1,150部）を発行し無料配布した。

(4) 消防功労者の表彰弔意に関する事業

ア 消防功労者に対する表彰等

防火防災思想の普及高揚に功績が認められた消防功労者64名に対して感謝状を贈呈し、物故者1名に弔慰金を拝呈した。

イ 都民の消防官表彰の協賛（サンケイ新聞社主催）

都民の消防官表彰を協賛するとともに、選考委員として参画した。

## 2 災害時の被害軽減対策の普及及び調査研究等に関する事業

(1) 災害時要配慮者に対する防火防災対策の調査研究及び普及事業

災害時要配慮者の団体を対象に、東京消防庁を交え、災害時の対策等について意見交換会を開催した。

(2) 東京消防庁派遣隊等への支援事業

東京消防庁派遣隊等への支援はありませんでした。

(3) 国際消防技術支援事業

ア 海外からの東京消防庁来庁者に対する記念品として、ピンバッジセットの製作を支援した。

イ 国際協力機構（JICA）が行うベトナム消防・救助能力向上プロジェクトの一環として、現地消防職員のはしご隊長・はしご機関員研修資料に供するため、専門図書「はしご車運用技術」のデータを無償提供した。

(4) 震災対策への支援事業

地震による室内被害を軽減するため、防災訓練の参加者に配布する「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」作成を支援した。

## II 収益事業

### 1 防火防災普及用物品の販売並びに消防施設整備利用に関する事業

(1) 防火防災普及用物品の販売事業

都民の防火防災思想の普及高揚を図るため、防火防災普及用物品を販売した。

(2) 消火栓標識の建植等消防環境の整備促進事業

地域の火災被害の軽減に資するため、消火栓標識の建植及び維持管理を実施した。(建植数 20,853 本)

## III その他の事業

### 1 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 協会の運営管理事業

理事会・評議員会を定期・臨時に開催した。

ア 第55回理事会 5月23日(前年度の事業報告・決算等を審議)

イ 第16回評議員会 6月11日(前年度の事業報告・決算・役員選任等を審議)

ウ 第56回理事会 10月21日(上半期の事業報告等を審議)

エ 臨時評議員会 11月10日(決議の省略:補欠理事2名の選任審議)

オ 第57回理事会 3月19日(7年度事業計画・予算等を審議)

(2) 会員等の連携交流事業

1月26日、「新年交歓会」を開催して会員相互の親睦と連携交流を図った。(参加人数 172名)